

## 別紙 1

### 仕 様 書

#### 1 業務名

岩滑ポンプ場 No. 2 送水ポンプ取替業務

#### 2 実施場所

下関市豊田町大字浮石 4 1 7 - 2 岩滑ポンプ場内 (別図 1)

#### 3 契約期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 1 9 日まで

#### 4 実施内容

本業務は、No. 2 送水ポンプ (電動機、共通ベースを含む) の新品取替を行うもの。(別図 1、2)

#### 5 機器仕様

##### (1) No. 2 送水ポンプ

ア 数 量 : 1 台

イ 名 称 : 小型多段遠心ポンプ

ウ 形 式 : バランスディスク形

エ 揚 水 量 : 0. 2 2 m<sup>3</sup>/分

オ 全 揚 程 : 8 9. 1 m

カ 出 力 : 1 1 k W

キ 吸 込 口 径 : 5 0 m m

ク 吐 出 し 口 径 : 5 0 m m

ケ フ ラ ン ジ : J I S 1 0 K

コ 液 質 : 浄水

サ 液 温 : 0 ~ 4 0 ° C

シ 軸 受 : すべり軸受

ス 主 要 部 材 質 : 以下の材質の同等以上とする。

(ア) ケーシング : F C 2 0 0 ナイロンコーティング

(イ) 羽 根 車 : C A C 9 0 1

(ウ) 主 軸 : S U S 4 0 3

(エ) 軸スリーブ : S U S 3 0 4

セ 附 属 品 (1台あたり)

(ア) 共通ベース 一式

(イ) 軸継手 一式

(ウ) 軸継手カバー 一式

(回転部分の巻込み防止用、取外し可能な構造とすること。)

(エ) 空気抜き弁、ドレン抜き弁 一式

(オ) 圧力計 (G 3/8) 一式

a 吸込側 :  $-0.1 \sim 1.0 \text{ MP a}$

b 吐出側 :  $0 \sim 1.6 \text{ MP a}$

(カ) L形基礎ボルト : SUS 304

ソ ポンプ附帯小配管弁類 一式

(ア) ポンプ附属小配管

(イ) SUS製圧力計配管及びSUS製ボールバルブ (G 3/8)

タ 外面塗装色 : メーカー標準色

(2) 電動機

ア 数 量 : 1台

イ 形 式 : 低圧三相かご型誘導電動機

ウ 定格出力 : 11 kW

エ 時間定格 : 連続

オ 定格電圧 : 200 V 60 Hz

カ 相 数 : 3 φ

キ 極 数 : 4 P

ク 始動方式 : スターデルタ

ケ 保護等級 : IP 44以上

コ 効 率 : IE 3級

サ 耐熱クラス : E以上

シ 外面塗装色 : メーカー標準色

6 撤去機器

(1) No. 2送水ポンプ

ア 数 量 : 1台

イ 形 式 : 小型多段遠心ポンプ  
ウ 製 造 者 : 株式会社 荏原製作所  
エ 型 式 : 50MS7611  
オ 揚 水 量 : 0.22 m<sup>3</sup>/分  
カ 全 揚 程 : 89.1 m  
キ 出 力 : 11 kW  
ク 口 径 : 50 mm

ケ 附 属 品

- (ア) 共通ベース 一式
- (イ) 軸継手 一式
- (ウ) カバー類 一式
- (エ) 附属配管弁類 一式

## (2) 電動機

ア 数 量 : 1 台  
イ 形 式 : 三相誘導電動機  
ウ 製 造 者 : 株式会社東芝  
エ 型 式 : IKK-FBK8  
オ 出 力 : 11 kW

## 7 実施範囲 (機械)

- (1) 上記6で明記した各機器の撤去。撤去した機器については場内から搬出し、関係法令に従い適正に処分すること。
- (2) 基礎ボルト取替 (φ125コア抜き後、無収縮モルタルを注入しL型基礎ボルトの固定を行う。)
- (3) 上記5で明記した各機器の製作・据付

## 8 実施範囲 (電気)

- (1) 電動機用電線管の取替
- (2) 電動機の変更に伴う送水ポンプ制御盤内部部品の取替及び設定変更作業
  - ア 漏電遮断器 1個取替
  - イ 進相コンデンサ 1個取替
  - ウ サーマルリレー 1個設定変更

## 9 新品ポンプ現場試運転

新品ポンプの据付及び調整完了後、試運転を行い、試運転時の各測定（現場試運転データ収集）、運転時の異常の有無確認を行うこと。

## 10 提出書類

(1) 機器製作仕様書・製作図承諾申請書 2部（1部返却）

(2) 成果報告書

(3) 完成図書 1部

ア 機器製作図

イ 機器構造図（部品展開図）及び機器寸法図

ウ 現場試運転報告書

エ 維持管理に必要な運転要領書（取扱説明書等）

(4) 設備台帳登録用データ（CD-R） 1式

ア 機器製作図（形式：PDF又はTIFF）

イ 機器構造図（部品展開図）及び機器寸法図（形式：PDF）

ウ 現場試運転報告書（形式：PDF）

エ 維持管理に必要な運転要領書（取扱説明書等）（形式：PDF）

オ 業務写真（形式：PDF）

(5) 業務写真（実施前、実施中、実施後） 1部

(6) 業務打ち合わせ簿 随時

## 11 実施に当たっての注意事項

(1) 受託者は、特に指示のない限り本仕様書及び次の関連図書類に基づき業務を行わなければならない。

ア 水道工事標準仕様書

イ 水道用ポンプマニュアル

(2) 機器の積み下ろしに際しては、人力又はクレーン等により行うが、衝撃等を与えず、機器を損傷させないように十分に注意すること。

(3) 材料は直接地面に接しないように副資材を利用して敷物の上に置き、直射日光、ほこり等を避け保管すること。

(4) 機器の搬入及び搬出など騒音・振動を伴う作業に当たっては、環境保全に十分配慮し、排出ガス対策型機械等を使用するなど、防止対策に万全を

期すこと。

- (5) 現場及び保管中の資材は散乱しないよう整理・整頓を行い、バリケードで囲う等の措置を講じること。
- (6) 動力電源の遮断等については、委託者が行うこととする。
- (7) 業務の実施前に委託者と業務時間、入出場時の施錠手段等について協議を行い、実施場所内に第三者がみだりに立ち入らないよう十分配慮すること。
- (8) 受託者は、業務の実施前に現地調査を行うこと。また、水運用の関係から現場撤去から据付まで機器が稼働出来ない期間が短期間（最短期間）になるよう検討し計画工程表を提出すること。
- (9) 実施日、使用材料、実施方法について委託者と事前に協議を行うこと。
- (10) 業務の実施日時は、原則として閉庁日（土曜日、日曜日及び祝日）を除く日の午前8時30分から午後5時までの間に行うこと。ただし、業務上で必要がある場合は、委託者及び受託者で協議の上、時間を変更して業務を行うことができる。
- (11) 既設構造物に損傷を与えたときは、速やかに委託者に報告し、受託者の責任で復旧すること。
- (12) 既設ポンプを現場から撤去した際は、撤去期間中に吸込及び吐出管内の汚染等がないようフランジ蓋等を用意し養生すること。

## 12 その他

- (1) 書類の作成に当たっては、記載した文字等を容易に消去することのできる筆記用具（消せるボールペン等）は使用しないこと。
- (2) この仕様書に定めのない事項については、その都度双方協議の上、解決するものとする。

以上